

東京都 土地改良だより

発行所

東京都土地改良事業団体連合会
会長 鈴木 木 眞 顯
会 員 田 区 九 内 3 ノ 1
東 京 都 経 済 局
印刷者 幸栄堂印刷株式会社
印刷人 青 木 茂 雄
電 話 (83) 9446. 4505番

降雪凍霜害

対策に関する建議

去る三月末の降雪凍霜による農作物の被害に對しては、已に都においては適切な対策を著々として進めつつある趣、洵に感謝に堪えないところである。

被害の実態は順次明らかになつてゐるが、都下の被害は依然として大きく、政府の公表数字においても全国的に最も激甚地帯であつて、われわれの希求にもかゝらずその全面回復は望むべくもない。

農業會議としては、去る四月八日関係機関団体と相諮り、被害対策に關し政府並びに国会に對して要望する一方、農政施策に對する農民の意見を積み上げ、その世論の形成に呼応し、ここに具體的に降雪、凍霜被害に關する諸対策を提案いたしたい。

物等農産物価格の下落傾向に直面し、農業の不安、農政の不信は今日ほど甚だしきときはないといわざるを得ない。

このさい東京都におかれは都下農家未曽有の被害に對し、抜本的な施策を實施し、以て農家経営の安定をはかり、農政の確立をはかるべきである。

右建議する。

記

一、農業共済金の概算私早期実施

農業災害は農業共済制度によつてその損失を補填し、再生産の確保を図るべきであるはいふまでもない。

よつて今次超異常災害にさいしては速かに共済金の仮払を行うと共に、この制度に許された最大限の共済金の支払についで特に配慮する等左記の

措置を講ずる必要がある

1 農業共済組合連合会
2 共済組合、同連合会の事業拡大に伴う運営事務費の助成

3 一割削減払を解消するため、共済組合手持保険料不足分の助成

二、再生産確保のため長期低利営農資金の融通

現行の支払共済金は余りにも僅少であつて、超異常災害による被害金額には遠く農業経営資金の不足は甚だしいものがある。殊に農業経済の現状においては、長期の低利資金によらねば投資はでき難いところである。

よつて左記により再生産資金の確保を図る必要がある。

1 天災法に基く融資は特別被害農業者に對する融資程度に利子補給を與施すること

2 被害の甚だしい地域内であれば弱体融機関の地帯においても、全被害農家があまねくその恩

恵をうけるよう特に措置すること。

3 被害の帰趨に對し既に農業振興資金として活用されつつある農家経営資金を拡大し、これによつて農家経営安定の途を講ずること。

4 自作農維持資金の枠の拡大

三、被害農作物樹勢回復用肥料と病虫害防除薬剤費の助成

金の補助要領によれば、全国的に少額であるばかりでなく、該当事項も亦甚だ狭し、都下の被害実態に即応しない。

よつて国の助成を最大限に利用でき得るよう措置すると共に都単によつてこれを補充する必要がある。

四、応急作付のための種苗並びに次期作付種子の確保

今次災害は作物の種類品種、耕作者によつてその程度を異にしているのて、激甚な被害地域に對しては種子確保のため次の対策を講ずること。

1 区市町村の麦種子需給計画の樹立実施に要する経費の助成

2 激甚な被害農家に對する麦種子の補給

五、救農土木事業の実施

農家経済の現金収入面の補充と同時に農業生産基盤強化のため、都下の全農業地域に對し、農道

の改修等いわゆる都単による土地改良事業を断行し、かねて罹災による人心の刷新を図る等農政の実をあげる必要がある。

六、農業協同組合活動に對する指導援助

罹災農家の経済再建における農業協同組合の役割は極めて大きい。災害克服のため迅速且つ適切に農家指導を行う農協活動の拡大と他面信用販売利用事業面における事業の縮小部面も亦意外に大きく、自力のみをもつてしてはその負担と責任は余りにも重い。

よつて左記対策を講ずる必要がある。

1 都農業振興資金において農業協同組合資金枠の拡大

2 農業協同組合活動拡充に伴う必要経費に對する助成

昭和三十三年五月二十九日
東京都農業會議會長
内 田 秀 五 郎
東京都知事
安井誠一郎殿

連合会日誌

322、足立区六町外二ヶ町農耕地約五〇町歩に至る土地改良事業の説明会を地元小学校において開催、江東三区土地改良事務所から亀田係長、島崎係長、高橋技師、足立区役所経済課

義頭氏表彰さる。

海老原課長、連合会より林参事出席
327、杉並公会堂に於て東京都農業會議第二回總會開催され、林参事出席

45、有楽町エリオン會議室において全役員参集の上連合会第一回役員会を開催、理事長の選任、参事の任命、諸規程の決議を行った。

416、両日に亘り日本青年館に於て、農林漁業団体職員共済組合制度の公布に伴い、関東一部九県、都県団体中央会事務主任、参事の上法の説明会を開催した農林省部課長各係官多数出席された。

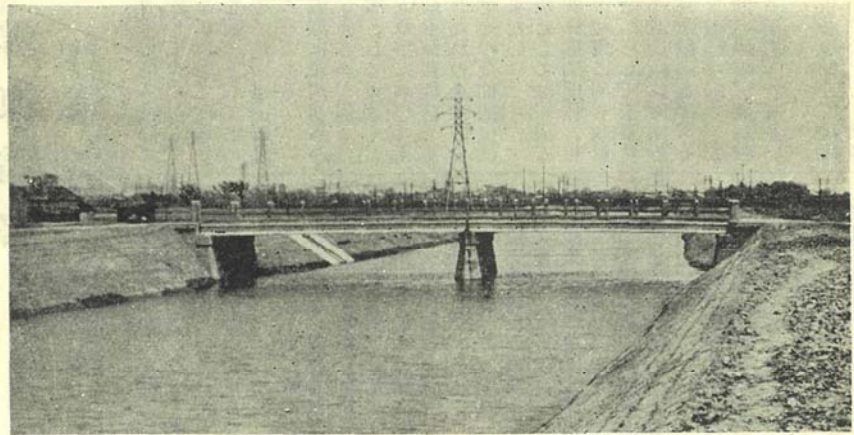
428、南、北、西多摩郡の土地改良現地調査、連合会発足に伴ふ挨拶を兼ね各郡の主要、市町村を巡回した。林参事同道

57、板橋区豊蹠小学校において土支田町外一ヶ町を含む農耕地約五〇町歩の土地改良事業施行に關し説明会を開催都庁、大岡係長、宇賀田技師、連合会鈴木會長、林参事出席

515、都議會議事堂において、永年土地改良事業に尽すいせられた功によつて東京都土地改良事業団体連合会會長鈴木

義頭氏表彰さる。

完成した排水路と谷塚橋



この事業は昭和32年度の都営毛長堀排水幹線改良事業として実施したもので、排水路の延長 377m (上巾26m 底巾18m 高さ2.60m) 橋渠 (谷塚橋長さ 24m 有効山負4.5m) 1ヶ所事業費 16,430,000円を要した。

これにより排水路の計画延長 5,800mの中 3,050 mが完成し、年々完成に近づくとこの事業に対して、地元関係者からは絶大な効果の期待をよせている。

異常渇水まだつづく?

六月四日朝と午後二回、東京地方はにわか雨がパラついていたが、雨量はわずか〇三ミリとほんのおしめり程度。水キンはまだまだつづきそう、気象庁では同日午後「今月末迄本格的な雨は期待できない」と渇水情報を発表した。農家は田植をひかえて赤信号をかゝ

今年春は春になつてから関東、東北地方を中心に干ばつが続いており、東京の三月から五月までの雨量が平均の四九パーセント、春の合計雨量としては明治三九年以来の記録的な異常乾燥になつてゐる。五月末にな

ると例年ならツユのはしりになるのに今年は下旬に入つて気温が昇り五月三十、三十一日にかけて関東地方から西日本は各地とも観測開始以来の最高温度をマークする異常ぶり、五月二十五日から六月三日までの連続十日間、東京には一滴の雨も降らなかつた。

これからの見通しは七日から十日にかけて雨が降る見込みだが雨量はあまり多くなさそう。今月後半にはツユらしくなる見込みだが雨量は今後もなお少ないおそれがあるという。

三月下旬都下一円を襲つた雪害、凍霜による災害対策をたてるため、都は五月はじめ、経済局を中心に、臨時東京都農作物災害対策連絡協議会を設置、融資などを検討して、いるが六月中旬頃までは具体的な救済策が決定する見通しである。

都経済局が五月五日現在調べたところによると被害額は妻が約八億六千八百八十二万七千円、その他野菜類などが、一億九千三百十九万二千円、合計十億一万九千円。

現在経済局でたてゝいる方針は救済は見舞金などの方法をとらず、再生産のための資金を貸付けようというもので、融資総額は振興資金其他で大体一億二、三千万円に落付く見込みとい

われている農民は今度の救済の方法が、再生産のための貸付資金であるといふことを十分認識して、善処せねばならない。

従来とられて来た救済とは異り工事に対する補助金ではなくて、借入金であるから返済する金であることを忘れてはならないのである。

都に於ける霜雪害対策

目下検討中

三月下旬都下一円を襲つた雪害、凍霜による災害対策をたてるため、都は五月はじめ、経済局を中心に、臨時東京都農作物災害対策連絡協議会を設置、融資などを検討して、いるが六月中旬頃までは具体的な救済策が決定する見通しである。

都経済局が五月五日現在調べたところによると被害額は妻が約八億六千八百八十二万七千円、その他野菜類などが、一億九千三百十九万二千円、合計十億一万九千円。

現在経済局でたてゝいる方針は救済は見舞金などの方法をとらず、再生産のための資金を貸付けようというもので、融資総額は振興資金其他で大体一億二、三千万円に落付く見込みとい

われている農民は今度の救済の方法が、再生産のための貸付資金であるといふことを十分認識して、善処せねばならない。

従来とられて来た救済とは異り工事に対する補助金ではなくて、借入金であるから返済する金であることを忘れてはならないのである。

整地会開催

五月の風かほる新緑の熱海温泉、保養館において五月十七日整地会を開催した。整地会とは東京府整地課時代に勤務した人達の集まりで当時の整地課長山田稔氏を会長とし三十五名の会員を持ち、会員各位の親睦を深めると共に互の近況を語り合うもので、当時の耕地整理法の供養も合せ行い毎年一回会合するが、主義も主張も会則も定めていない。

今回は特に副会長の川名進一氏 (現熊谷組理事) のアメリカに於ける農業土木事業を視察され五月八日帰朝されたので、その報告をきき泉都熱海の夜のふけるまで語り合ひ、翌朝解散した。

尚当日の出席者左記の通り (敬称略)

- 山田稔、川名進一、鈴木義頭、難波武夫、栗田礼祇
- 斯井宇一、丸岡信、武井鉄寿、川上金平、西村寿郎、
- 児玉周二、飯沼長治、堀友之進、大森助二、佐藤信衛
- 亀田熊市、芳野民雄、上原嘉太郎、藤山忠蔵、大岡弘
- 以上二十名

米麦増収に

暗渠排水事業完備

世田ヶ谷区岡本鎌田町

農地の暗渠排水完備を積極的にすすめている世田ヶ谷区岡本、鎌田町では昭和三十三年度事業として多摩川沿岸の水田約十七町歩を二毛作田とするため、先ず約十町歩に工事費三百五十万円を暗渠排水工事完成したが、今年度も引続き残り約七町歩暗渠工事を行うことになった。区では土地改良区の計画完成をまつて、農業対策振興会に語り、補助金の交付額を決めるか昨年同様工事費は農閑期に実施される。

この工事完成によつて、来年度は同地域から米、二四石、麦九六石の増収を見込んでいる。

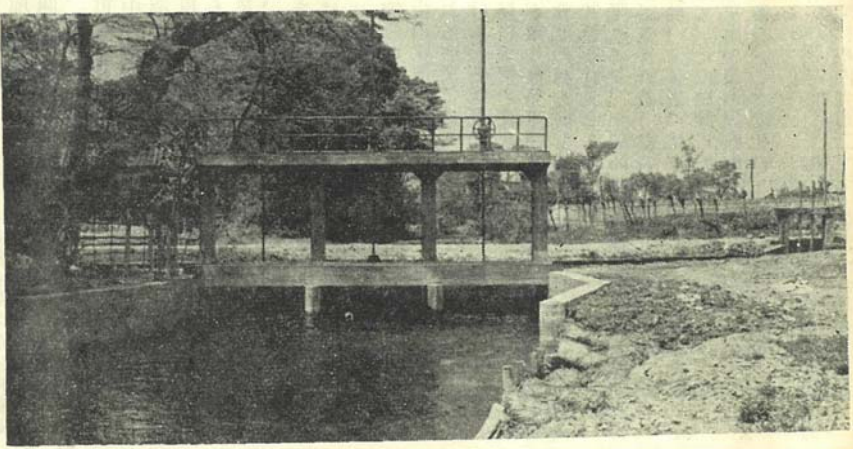
この世田ヶ谷区岡本、鎌田町の水田は以前から六郷用水が流れているが、この用水は高いところを流れているため、地下水位が高く、肝心の用水路も曲折が多いばかりかほとんどが埋没している。田は湿地、半湿地の状態を呈して地力が低下し、生産量も減少気味であった。このままでは年々衰微するばかりと地元農家が土地改良事業を起して、一挙に

会長 鈴木義顯 表彰さる

東京都表彰規則によつて昭和三十三年五月三日、東京都議会議事堂に於て東京都土地改良事業団体連合会長は表彰を受けた。

事績概要は次の通り
板橋区下赤塚町二一九七
鈴木義顯
本は多年にわたり農会長耕地整理組合長、土地改良区理事長として現在にいたるまで前後二十六年を余にわたり土地改良事業の発展に貢献した功績は顕著である。

完成した六ツ木排水場附帯余水吐工事



この事業は昭和32年度の都営土地改良事業として事業費 1,260,000円をもつて竣功したもので在来の人力による角落余水吐を取り壊し、新に単動捲揚機による樋門を3基設置した。これにより豪雨時に埼玉県側から葛西用水を満流々下する悪水を、迅速、容易に六ツ木排水場に導き得るので、足立、葛飾両区内の農地は水害の難るら完全にまぬかれ、排水設備は完璧を期し得たものである。

練馬・板橋両区の未整理 水田地帯解消か!!

―進む白子川沿岸区画整理事業―

武蔵野台地の東縁石神井川、白子川の浸蝕谷に形成された水田地帯は二百町歩近くに及ぶ。都市の急激の発達にともない住宅地帯として附近は開発されているにかゝらず、近年迄それ等は往古の姿そのまゝにその風情をとよめていたが、先に報じた様に石神井土地改良区(五十町歩)大泉土地改良区(五十町歩)の事業が終り、今、白子川沿線にて上支田地区と、成増地区に土地改良区設立準備が急速に進められ、首都圏にふさわしいグリーンベルト地帯の体制を固めようとしている。

この二つの地区は練馬、板橋区共に最後に残された水田地帯の区画整理であり地元関係者区役所に於ける意気込みはなか／＼大きいものがある。

簡単に地区の様子を説明をすると「土支田地区」は丁度大泉土地改良区の下流部練馬区と埼玉県大田町にまたがる十町余の水田であるが、小さくても両都県にまたがる土地改良区で、建設局の改修事業と併行して

「成増地区」については昭和二十六年白子川改修事業と併行して実施しようとした話を持上つたが、期末だ熟せぬ感があり中止になつていた地区である。白子川の最末端新河岸川との合流点附近五十町余の集団地帯であるが、地区内幹線道路四米がわつか一本あるのみで機械化された現在、除虫作業にもことなき、周囲水田が全部区画整理され、虫害防止が完全である為、この地区に虫が集ると云う現象が起り、どうしても整理せねばと申請人、田中浅右衛門、榎本喜一氏等が、立ち上り、越冬事業実施を目標に計画を進めている。

この様にして、両区の水田地帯の土地改良は、一応終止符を打つ事になるわけだ、都農地課団体営土地改良区でも、この阿土地改良区の設立には、大きく支援を行つている。

この様に、両区の水田地帯の土地改良は、一応終止符を打つ事になるわけだ、都農地課団体営土地改良区でも、この阿土地改良区の設立には、大きく支援を行つている。

多摩土地改良

事務所を訪ねて

九市三多摩全域の土地改良事業の推進に当たっては、多摩土地改良事務所を一日御訪ねして所長から現況と本年度の事業計画について色々と伺ったので紹介することにした。

改良事務所は昨三十二年当初に事業の強化を計るため、職員を増強せられ所内の編成の一部に改編増強を行い特に調査事業の委譲によつて事業は相当増加を見て活況を呈している。

本年度は其の第二年度として、都営土地改良事業をはじめ農地の改良、開発、改善、並に集団化について推進を図っているが、近時都市の急速の膨脹発展に伴い農耕地面積は年々縮少せられ、都市的設備の分數等によつて、農業生産基盤の整備改良事業は年々高まり農山村振興対策と相まつてかんがい排水をはじめ漸く土地改良事業の推進或は指導の必要は益々重要性を加えている。

昭和十三年当時時局巨変事業として、実施せられた各種重要農業施設もその耐久年限に達したのであるが昭和二十三年以来うちつゞく災害による被害のため、

災害復旧事業として復旧せられ全く其の面目を一新せられた観があるし、なお多くの未改良施設は放置せられ、土地改良事業実施の要望は熾烈にして本年度に於ても、都費単独土地改良事業希望地区は実に八一地区

事業費五、五〇〇万円に達し、更に小団地開発整備事業についても、一五地区二二〇〇万円、団体営土地改良事業七地区二、八〇〇万円総額一億円余の多きに達している。

又、秋留台地畑地かんがい事業計画もその要請に応ずる一部にして昨年に引きつゞき溜池地点の測量、導水路の調査、或は、地質土壌、水位流量等多角的に基本調査が行われる予定であるが、武蔵野台地についても、畑作地帯に水源を求める地元農家の都に対する指導援助の要請が次第に強くなつてきている。

次に多摩川沿岸農業水利改良事業は昭和二十三年を契機として、国庫補助を得て、小規模都営土地改良事業として大丸、日野用水は継続実施せられていて、これら事業として、撰択条件にみない多くの狭少

面積の多摩沿岸の水利組合は、近時河底の低下等によるかんがい水の涸渇、或は取水困難の実情を訴え、これが対策として、北区の総合土地改良区の設立等の指導が行わると共に取水計画の抜本的方針樹立に必要な調査が行われている。

又昭和三十三年度より十ヶ年計画をもつて国土調査法による地籍調査事業は、秋留公地開発事業調査の一環として、昨年度より秋留町、五日市町、日の出村に於て実施中にして、本年度は一筆地調査を実施すると共に、新規地区として村山町に於ても着手の段階となり、本事業は行政的にも技術的にも、幾多の困難を伴う事業であつて、再三の指導推進には多くの努力を要することに成る。

失業対策農業土木事業は失業者発生の状況に依じて実施せられる事業であるが最近に於ける雇傭状況の推移、或は経済事情の変動と共に、此事業の性格も単なる失業者救済の域を脱して経済効果果其他を背景とした新しい展開により、一層高度の運営が望まれる。従つて管内各地の失業者の状況を観察して、その地域に於ける農業土木事業の規模を選び、農業計営の合理化の一助とせられていて、

即ち本年の予定地区は九市二十六町村の内九市二十

三町村を対象として、地区数一二二地区、工種別に見ると、農道八三件、用排水

路三三件、その他整備事業六件にして、毎月八八の人の失業者が救済せられていゝを示せば、

- 事業の名称
- 都営土地改良事業
 - 団体営土地改良事業
 - 災害復旧事業
 - 都営単独補助土地改良事業
 - 秋留台地畑地かんがい調査事業
 - 失業対策農業土木事業
 - 新農山村漁村総合対策事業

予定地区数	本年度予定事業
三	二〇、〇〇〇、〇〇〇円
三	四、七四〇、〇〇〇円
九	三、四〇〇、〇〇〇円
二六	一七、〇〇〇、〇〇〇円
一一一	四、〇〇〇、〇〇〇円
一一一	一四一、〇〇〇、〇〇〇円
未定	未定

土地改良事業団体連合会の事業案内

東京都土地改良事業団体連合会は次の事業を受託いたします。

- ◎土地改良事業の調査測量設計、かんがい排水、畑地かんがい、暗渠排水、客土、区画整理、農道等の新設改修、その他土地改良工事の監督指導経理事務の指導援助
 - ◎土地改良区の設立に関する一切の業務助成
 - ◎災害復旧工事の調査、測量、設計申請に関する業務の助成
 - ◎区画整理、換地処分より登記申請、解散に至る迄の業務助成
 - ◎地籍調査の委託―筆地調査、地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、地籍細部測量図及び地籍簿の作成六工程
 - ◎農林漁業資金の借入業務このほか、土地改良業務に関する総ての御相談に応じます。業務は本会の「受託規程基準」により実費程度で受託しますから、委託希望者は本会にお申込み下さい。職員が出張し経費の見積その他御相談に応じます。
- 東京都土地改良事業団体連合会
東京都千代田区丸の内三ノ一 東京都庁経済局内
電話直通(20)四五九七番
五一一一―五一一九番 内線五一六九番